

# Maz-motte

名古屋JCがつくる広報誌 マズモッテ



Vol.1

2018.01.09

公益社団法人名古屋青年会議所2018年度（第68年度）スローガン

# 天・地・人

～すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋へ～

## Contents

- ▶ 理事長 新年のご挨拶
- ▶ 政財界 新年のご挨拶
- ▶ 正副団 新年のご挨拶
- ▶ 68名古屋JCの組織体系の紹介

公益社団法人名古屋青年会議所2018年度（第68年度）スローガン

# 天・地・人

～すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋へ～

公益社団法人名古屋青年会議所

第68代 理事長 **山本 一統**

平素は、公益社団法人名古屋青年会議所の活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。  
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

## 人の和

最後に人の和。これは、志を同じくして相集い、英知と勇氣と情熱を持ったJAYCEEである我々にかかっています。青年経済人であり地域のリーダーである我々は、国内外のネットワークや行政・大学・市民団体などのパイプを最大限に活用し、一人ひとりの成長によってさらにステージを上げ、今こそ課題解決集団としての名古屋青年会議所の存在価値をより一層輝かせなければなりません。

2020年東京オリンピック・パラリンピックや2026年夏季アジア競技大会の開催、インフラの国家プロジェクトであるリニア中央新幹線の開通を目前に控え、名古屋が変わる絶好のチャンスが到来している一方で、名古屋は主要8都市の中で「最も魅力に欠ける都市」と位置づけられています。私たちは自らの住まうまちが、大きなチャンスに恵まれているにもかかわらず、「魅力がない」と言われている現状に大きな危機感を抱き、我がまち名古屋を変えていく必要があります。そして、その変えられるチャンスは、今しかありません。なぜなら、人が動く、時代が動くのは天の時、地の利、人の和を意味する「天・地・人」が、今の名古屋には揃っているからに他なりません。

## 天の時

先述の東京オリンピック・パラリンピックや夏季アジア競技大会を控え、国際的な経済情勢は予測を許さないものの、我が国の経済は長期安定的な拡大局面にあり、落ち着いて将来の問題に取り組める環境が整っており、今まさに天の時を得ていると言えます。

## 地の利

名古屋は日本東西交通を結ぶ要衝であり、リニア中央新幹線が開通すれば、名古屋を起点として1時間圏内で東京や大阪へ行くことが可能となります。また、空の玄関口・中部国際空港や海の玄関口・名古屋港を擁していると共に、岐阜や北陸といった豊富な観光資源のある昇竜道の中心地でもあります。加えて、名古屋にはトヨタを頂点とする巨大な自動車関連企業や、日本初のジェット旅客機MRJなどの航空宇宙産業が存在し、名古屋は世界をリードする先端産業の集積地でもあります。

本年度の名古屋青年会議所は「規律と品格を重んじた会員資質の向上」と「質実剛健な名古屋人の育成」を通して、「暮らして善し」・「働いて善し」・「来て見て善し」の「三方善し」が揃い、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋を創造してまいります。「創始の精神」と、67年間の歴史と伝統に我々の想いを結集させ、「天・地・人」の揃う今こそ、我々が先頭に立ちまちを動かす、国を動かしていく時です。

「人は人によって磨かれ、変わることで磨かれる」  
人が変われば、まちが変わり、まちが変われば、国も変わる。800名に迫る名古屋青年会議所会員の想いを一つにし、市民の心に共鳴すれば、必ず名古屋を変えられると確信しています。

結びとなりますが、市民の皆様、関係諸団体の皆様、そして会員の皆様におかれましては、引き続き本年度の公益社団法人名古屋青年会議所への一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成という時代が  
終わりを告げようとしている  
夢と希望溢れる新時代へ  
誇り高き創造者となれ

## 平成三十年 年頭所感 新春を迎えて



愛知県知事  
**大村 秀章**

あけましておめでとうございます。  
昨年は、リニア中央新幹線の愛知県内での本格着工、MRJの米国での飛行試験開始など、日本の未来を創るプロジェクトがまたひとつ大きく前進しました。  
また、2026年アジア競技大会の開催

決定、有料道路コンセッション、公道での自動走行の実証実験など、新たな取組に果敢に挑戦し、着実に成果を挙げた1年となりました。  
今年も、こうした取組を進展させるとともに、新たな取組に積極的にチャレンジし、愛知の可能性を大きく広げる1年としてま

います。

2027年度のリニア開業に向け、鉄道・道路網の強化など中京大都市圏づくりを着実に進めながら、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の強化、国際展示場の整備などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

また、Heart of JAPAN Technology & Traditionをキャッチワードに、武将観光やユネスコ無形文化遺産に登録された日本一の山車からくりなど愛知の魅力の創造・発信に取り組みとともに、積極的に国際交流を進めてまいります。

そして、認知症対策の拠点づくりとなる「オレンジタウン構想」にも着手するほか、医療・福祉、教育・人づくり、防災・環境、東三河地域の振興にもしっかりと取り組み、愛知の総合力に更なる厚みを増してまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成30年元旦

## 世界に認められる 大都会 ナゴヤへ



名古屋市長  
**河村 たかし**

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、本市はフランス・ランス市と姉妹都市提携を結びました。ランス市は、歴代国王の戴冠式が行われたノートルダム大聖堂など、幾つもの世界遺産を有する歴史と文化の街であります。今後、観光面での相互PRをはじめ、幅広い分野で交流を進めてまいります。

さて、日本を訪れる外国人旅行者が年々増加する中、政府は「2030年に6,000万人」との目標を掲げております。本市としてもより多くの旅行者に訪れていただけるよ

う、都市魅力の磨き上げが必要と考えます。

名古屋城は、三英傑や配下武将にゆかりのあるナゴヤにとって観光の核となる存在です。昨年、天守閣が本物木造復元に向けて歩みはじめ、本年6月には本丸御殿の完成公開を予定しております。私としては、将来、名古屋城がノートルダム大聖堂と並ぶ世界遺産となるよう、全体の整備を進めてまいります。

一方、本市を訪れる旅行者に「来てよかった」「また来たい」と思ってもらいたくためには、「食」の満足度を高めることも重要です。本年3月には、名古屋城エリアに「金シャチ横丁」が開業予定であり、ナゴヤのおもてなしには欠かせない「なごやめし」などもお楽しみいただけます。この魅力ある食文化を市内の至るところで体感していただけるよう、本市としてもさらなる盛り上げを図ってまいります。

今後は、東京オリンピック、アジア競技大会、リニア開業など、ビッグプロジェクトが目白押しです。これらをナゴヤの発展に確実につなげるためにも、産業競争力の強化や福祉の充実、子どもと親を日本一応援する施策など、様々な分野で積極的な投資を行うことが重要であります。そして、その魅力を全世界に強力に発信し続け、世界中から人や企業が集まる「世界に認められる大都会」に向けて取り組んでまいり所存です。ゆくゆくはロンドン、ニューヨーク、パリと並び称されるナゴヤとなるよう、チャレンジしてまいります。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい飛躍の年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

平成30年元旦

公益社団法人日本青年会議所 2018年度

基本理念

## 「和」の精神性が導く 愛と希望溢れる国 日本の創造

基本方針

1. 地方創生と事業創造による経済大国日本の復権
2. 教育再生と国際競争力向上による自主自立国家の確立
3. 世界との普遍的なつながりによる調和の実現
4. 人財育成と組織連携が生み出す社会的信頼の確立
5. 「個」のつながりと調和による盤石な組織の確立



2018年  
年頭所感

名古屋商工会議所  
会頭 山本 亜土



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、平成30年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。さて、我が国経済は昨年からの緩やかな回復基調が続いており、中でも当地経済は、海外需要に支えられて設備投資にも前向きな動きが目立つなど他地域に比べても堅調です。ただ、各産業において引き続き人手不足が深刻で、中小・小規模企業では景気回復の実感が未だ浸透していると言えない状況です。

海外に目を向けますと、経済面では、中国や米国の今後の動向等に懸念はあるものの、総じて回復の傾向にあります。通商貿易については、米政権の保護主義的な動きがある中で、昨年11月には米国が抜けた環太平洋パートナーシップ協定(TPP)につき、残る11カ国が改定案で大筋合意し、12月には日本とE

Uとの経済連携協定(EPA)交渉が妥結されるなど前向きな取り組みもあって、自由貿易堅持に向けた努力が今後更に進むことを期待します。他方、政治面では、北朝鮮問題、EU諸国の政治混乱、中東情勢、そして各地での度重なるテロ事件など、様々な波乱要因を抱えており、このようなリスクが顕在化することがないように祈っております。

### ○大きな潮流変化を見据えて、新たな発展へ

このように、現況において当地経済は比較的堅調であると申せます。一方、中長期的にみれば、AIやIoT、ビッグデータ等によるデジタル革命(デジタルトランスフォーメーション)などの変動が、企業活動のあり方を大きく変えつつあります。当地主力の自動車産業も、今後EV化の動きに加えて、自動走行やコネクテッドカー等による大きな変化が予想されます。当地の産業全体としても、このような100年に一度と言われる大変化を念頭に、新たな成長に向けた挑戦を加速しなければなりません。

また、2027年にはリニア中央新幹線の先行開業を予定しており、堅調な経済の現況も相俟って、駅周辺で商業施設やホテルの建設・開業が相次ぎ、栄・伏見地区でも大規模な開発計画が進むなど、名古屋の街は大きく姿を変えつつあります。

この新規投資への大きな動きを捉えて、リニア開通後に関東圏との一体化の中で埋没・吸収されるリスクを乗り越え、飛躍へのチャンスとするため、今後10年の間に、我々の街ナゴヤにしかない個性・魅力を創り上げていかなければなりません。そのために、街づくりと、これと一体で、商業・サービス業や観光・誘客・MICEなどの発展を進める包括的な戦略づくりが必要ではないかと思えます。

### ○地域とともに

以上の認識に立って、名古屋商工会議所は「中小企業支援」「次世代産業の振興」「都市力の増進」を3本柱として、本年も全力を挙げて取り組んで参ります。

第一の「中小企業支援」については、70名の経営指導員が年間25,000件の巡回指導や窓口相談の中で、資金調達、事業計画策定、販路開拓や人材育成など、中小・小規模事業者に寄り添ったきめ細やかな「伴走型支援」を行なっております。

今後は、特に、デジタル革命の急速な進行に資金、人材等の制約で遅れがちな中小企業に対してIT化の相談指導を強化していきます。IT導入によるメリットや可能性を伝え、気付きを促すため、セミナー等を大幅に増やすとともに、人材育成支援も拡充します。

また、我が国の中小企業事業者数は、この5年間で40万者減少しており、経営者の高齢化が進む中で、今後10年の間に「大企業承継時代」を迎えます。これに対し、本所としても、円滑な事業承継への環境整備と個別支援のための諸施策を更に充実させて参ります。

### ○躍動し、愛されるナゴヤへ

第二の「次世代産業の振興」では、航空宇宙や医療機器など、自動車産業に次ぐ新たな産業の振興のため、更なる取組を進めます。

航空宇宙関連製造業は、当地域で我が国全体の約半分を生産するなど、既に国内最大の集積地になっております。しかし、米国シリアル地域や仏トゥールーズ地域などとの差は未だ大きく、今後当地域が世界的な航空宇宙産業クラスターへと発展するために、大手メーカーの

更なる発展とともに、サプライヤー製造業の厚みと拡がりを増す取り組みが重要です。本所としては、昨年の第2回エアロマート名古屋の大成功を踏まえ、来年に予定している第3回の開催準備を鋭意進めるとともに、部品加工トリアールなど、多彩な事業を進めます。また、医療機器については、メディカルメッセの開催準備等の取組を行なうほか、ロボット産業の振興にも努力を続けます。

最後に、「都市力の増進」です。当地はモノづくりの世界的集積地であり、「稼ぐ力」を持った地域です。当地が今後も発展を続けるために、インフラ整備は必要不可欠です。

リニア中央新幹線の効果を最大化し、地域全体にあまねく行き渡らせるため、中部国際空港の二本目滑走路の早期整備、名古屋港整備の着実な推進、名古屋環状二号線や西知多道路等広域幹線道路の整備促進に、引き続き積極的に取り組んで参ります。

更に、リニア開通までの10年間に、ナゴヤが「躍動し、愛されるナゴヤ」として、全国や世界に注目されるような都市になっていくため、行政等と一体となった包括的な戦略づくりと実行策の推進が必要と考えます。昨夏以来、「躍動し愛されるナゴヤ研究会」を設置して検討を続けており、本年半ばまでには取りまとめを行なう、これに基づいた具体策を進めていきたいと思えます。

以上の3本柱の下で、本所としては、本年も全力を挙げて地域と産業の発展のために取り組んでまいります。

会員の皆様におかれては、本年も何卒、本所の活動にご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に多大なるご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年度、公益社団法人名古屋青年会議所が理事長 山本 一統君のもと、「天・地・人」すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋へ」のローガンを実践し、明るい豊かな社会を実現するべく青年会議所運動に邁進されることを心より期待申し上げます。

貴青年会議所がこれまで、第26代会頭 田口 義嘉寿先輩、第56代会頭 池田 佳隆先輩、直前会頭 青木 照護先輩をはじめとする多くの役員の皆様を本会に輩出され、日本の青年会議所運動を力強く牽引し、地域、ひいては国家の発展にご尽力されてきましたことに、深く敬意を表します。

本会では、本年度、「和」の精神性が導く「愛と希望溢れる国 日本の創造」を基本理念として掲げ、愛と希望溢れる未来を次世代に引き継ぐべく、地方創生と事業創造による経済大国日本の復権、並びに、教育再生と国際競争力向上による自主自立国家確立を目指し、取り組んで参ります。

愛と希望溢れる国 日本の創造は、地方創生無くしては実現しません。貴青年会議所におかれましては、地域の実状を的確に掴み、抽出した課題に正対し、地域の未来を切り開くリーダーとして、主体的な運動を展開され

ることをご期待申し上げます。本会と致しまして、地方創生に向けた政策を推し進めて参りますので、大いに活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに、本年が先輩諸氏や現役会員の皆様にとって実り多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

人は、限らない可能性を秘めている  
万物に感謝の心を以て、公に誠を尽くす  
愛と希望溢れる国 日本を創造するために

公益社団法人日本青年会議所  
第六十七代会頭

池田 祥護



## 第68年度正副団 新年のご挨拶



専務理事

公益社団法人名古屋青年会議所  
第68年度 専務理事

伊藤 崇

あけましておめでとうございます。本年度は、運営の長として、各グループが発信する運動が最大の効果を発揮するために、様々な支援をさせていただきます。さらに、規律と品格を兼ね備えた会員基盤の再構築並びに会員の出席率の向上に寄与する取り組みを行い、組織としてのさらなる一体感の醸成に尽力いたします。そして、市民の皆様にも求められる名古屋青年会議所

を目指し、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年一年どうぞよろしくお願いたします。



総務グループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第68年度 常務理事

鈴木 里英

あけましておめでとうございます。総務グループとしては、会員が適切に運動を構築するために、堅実な組織運営並びに会員資質を堅持するための出席率調査を行います。さらに、公正かつ強固な組織基盤を作るために、公益目的事業比率を遵守した運営を検証し、収支予算案の立案補佐・決算を行います。また、対外広報活動を通じて、名古屋青年会議所の存在価値と運動に

対する市民の参画意識を高める効果的な情報発信を行います。そして、凛然とした規律を会員一人ひとりが意識し円滑に運営していくことで、品格漂う誇り高い組織・会員を醸成し、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年一年どうぞよろしくお願いたします。



名古屋の特性を活かしたまちづくりグループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第68年度 副理事長

田中 良知

あけましておめでとうございます。名古屋の特性を活かしたまちづくりグループとしては、市民が名古屋の特性を共有するために、意見聴取などに基づいて、まちの現状を把握し、地域のプランディング手法を構築いたします。さらに、市民が理数の楽しさに気づくために、科学が未来を創造する事実を伝え、世界に躍動する理数都市NAGOYAの未来を共有いたしま

す。そして、観光都市名古屋を確立するために、魅力的な観光資源を発信することで市民が新たな観光の柱を創造し誇りにつなげる事業を実施し、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年一年どうぞよろしくお願いたします。



世界で躍動する質実剛健なひとづくりグループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第68年度 副理事長

尾関 良祐

あけましておめでとうございます。世界で躍動する質実剛健なひとづくりグループとしては、海外との交流事業を通し、次代を担うグローバルな人財を育成いたします。さらに、公益資本主義の考えに基づき、世界で躍動することのできる起業家を発掘・育成いたします。また、日本人の精神性を再確認する機会を創出し、わんぱく相撲を通して相手を思いやる心の重要

性を伝播いたします。そして、成人として持つべき知識を発信し、それをも身につける新しいカリキュラムを実践して、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年一年どうぞよろしくお願いたします。



地域で取り組む課題解決グループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第68年度 副理事長

佐地 宏之

あけましておめでとうございます。地域で取り組む課題解決グループとしては、地域の支え合いと新たな意識の確立によって、様々な社会課題の解決に取り組んでまいります。具体的には、育児に関する保護者の負担を軽減し、子供の可能性を狭めてしまう教育格差を解消できるよう、地域の支援体制を構築いたします。そして、ダイバーシティの確立によって、少数者

の特性が個性として尊重される社会を実現すると共に、ネットモラルの確立を目指して、道徳を根幹とした新たなモラルの普及活動に努め、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年一年どうぞよろしくお願いたします。



渉外・広報グループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第68年度 副理事長

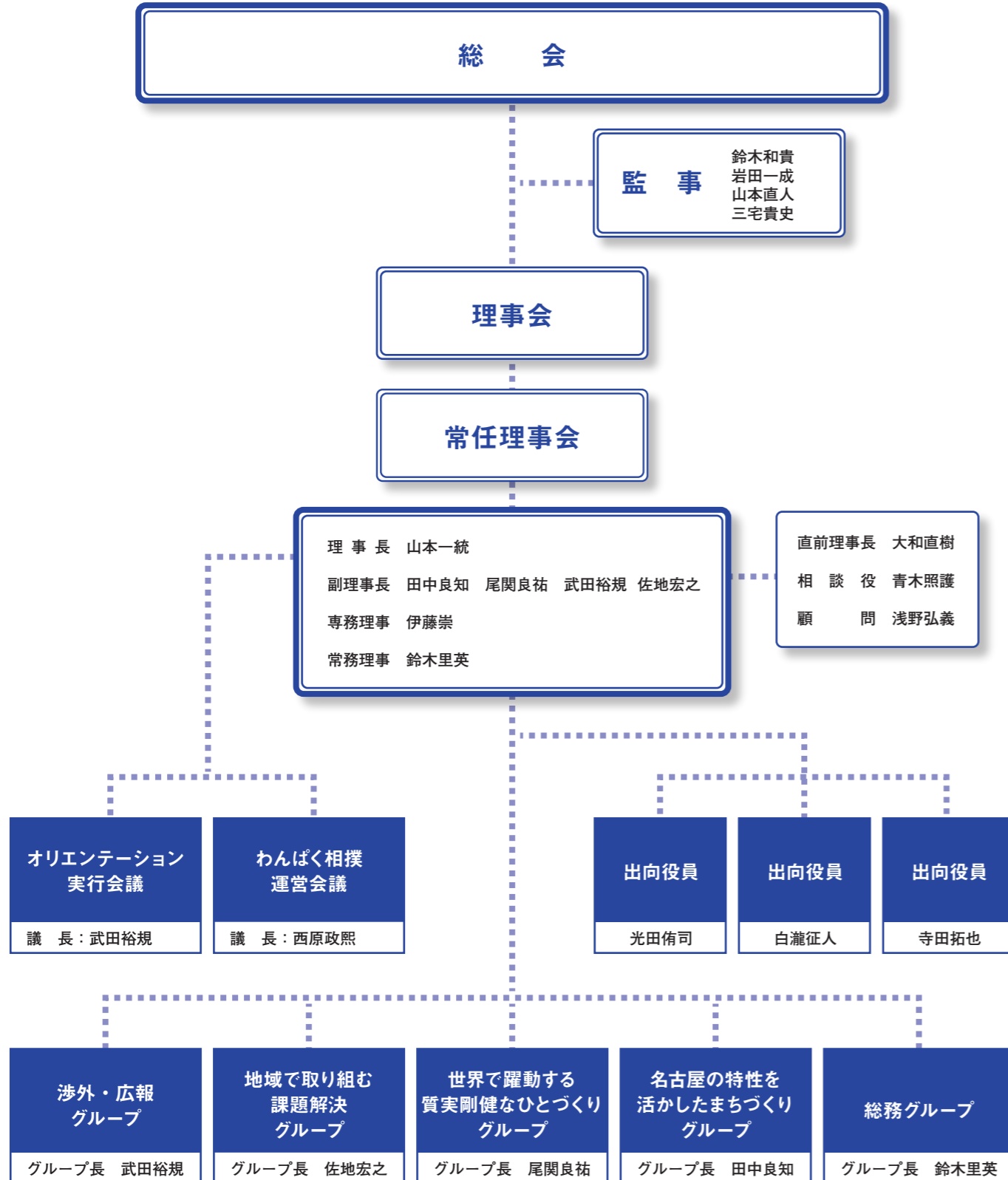
武田 裕規

あけましておめでとうございます。渉外・広報グループとしては、青年会議所運動の意義と目的を正しく会員に伝達し運動を力強く推進するために、各地青年会議所とのネットワークを強化し、対外統括窓口としての運営を行います。さらに、運動の成果を最大限発揮するために、魅力的で実用的な対内広報を実施いたします。そして、市民がまち・国づくりに、積極的

に参画していくために、誰もがまちや国の理想を語り合える基盤を創出し発信する例会を開催し、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年一年どうぞよろしくお願いたします。



## 公益社団法人名古屋青年会議所 2018年度(第68年度)組織図



※各グループ・委員会・会議体の詳細については、9P、10Pにて紹介しています。

東海地区協議会基本理念

### 将来に希望が溢れる 日本創生の核となる東海の創造



公益社団法人日本青年会議所  
東海地区協議会

2018年度 会長 細野 勝雅

謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
平素より公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会の運動に格別のご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また貴青年会議所より多くの出向者を東海地区協議会にご輩出頂き心より感謝申し上げます。  
さて、私たちが住まう東海地方では、49の自治体が消滅可能性都市であることから地方の過疎化が懸念され、南海トラフ巨大地震発災のリスクを抱える一方、製造業が活性化し東海4県での合計GDPが年々増加を続けていることから、経済発展の可能性を秘めています。モノづくりの一大拠点として地方資源を活かした地域ブランドが創出され、防災安全保障の確立された災害に強く経済活力に溢れた東海を創造する必要があります。  
まずは、地域に活力をもたらす地域ブランドを創出するために、地域のブランドに価値をもたせたいです。そして、交通インフラ改善による国土強靱化を推進するために、早期実現に向け民意を政府に反映します。さらに、機能的な防災ネットワークを構築するために、安全保障を支える情報共有手段を確保します。また、地域において未来の扉を開ける人財を育成するために、6月3日から6月10日の8日間にわたり、寄港地台湾に向けて第45回「JC青年の船」とうかい号を出航いたします。  
地域の未来を切り開く志をもった我々が、モノづくり大国日本の中核地として将来に希望がもてる地方の創生を果たし、奇跡を起こす人財に溢れ国土強靱化による経済活力と防災安全保障が確立された未来を描ける東海を目指し運動を推進して参ります。  
結びに、山本一統理事長の力強いリーダーシップのもと、メンバーが一丸となり、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造が実現され、魅力あふれる名古屋となりますことを心よりお祈り申し上げます。そして、皆様のご健康と社業の更なる発展を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

愛知ブロック協議会スローガン

### 33の熱きPRIDE ～志高き挑戦による逞しい愛知の未来の創造～



公益社団法人日本青年会議所  
東海地区 愛知ブロック協議会

2018年度 会長 浅野 弘義

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
平素より、公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会の運動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、私、山本監査担当役員、寺田運営専務をはじめ多くの出向者に対し多大なるご支援を賜っておりますことに改めて厚く御礼申し上げます。  
本年度、愛知ブロック協議会は「33の熱きPRIDE」志高き挑戦による逞しい愛知の未来の創造」をスローガンに掲げ、多くの困難に果敢に挑戦し、未来を見据えた志をもって、次の10年に向けて一歩を踏み出すことができる人財を育成するとともに、その人財が、愛知を愛し、本質を見極め、類い稀な行動力を発揮することによって愛知の未来を創造してまいります。また、愛知ブロック協議会は2018年で60年という節目を迎えることとなります。60年間に亘り数々の歴史を刻まれた先達に敬意を表するとともに、受け継がれてきた本質的な伝統を継承し、10年後を見据えた斬新的なエッセンスを加え、持続可能な逞しい愛知の創造へ向けた意識変革を起こしてまいります。  
公益社団法人名古屋青年会議所におかれましては、山本一統理事長の類い稀なリーダーシップのもと、名古屋を必ず変えられるという強い思いに基づいて、地域の課題解決に向けた力強い運動を展開されることと確信しております。そして、その力強い運動が「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋の創造」につながることを心よりご祈念申し上げます。  
結びに、愛知ブロック協議会に対しまして2018年度もこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



**渉外・広報グループ**

グループ長 武田裕規

**地域で取り組む課題解決グループ**

グループ長 佐地宏之

**世界で躍動する質実剛健なひとづくりグループ**

グループ長 尾関良祐

**名古屋の特性を活かしたまちづくりグループ**

グループ長 田中良知

**総務グループ**

グループ長 鈴木里英

**渉外・広報室**

室長 鈴木信輝

青年会議所運動の意義と目的を正しく会員に伝達し運動を力強く推進していきます。そして、規律を正し品格を高めた会員一人ひとりが、英知と滾る情熱を胸に崇高な志を掲げ勇猛果敢に運動を巻き起こし、市民と行政や大学、政治家や民間団体がまち・国づくりに関する課題を共有し、誰もが理想を語り合える基盤を創出し、発信してまいります。

**地域連携室**

室長 荒尾政弘

地域の支え合いの中で、育児が人生における負担ではなく、自分らしい生き方の一部として捉えられ、子供たちが自らの可能性を開花させるために必要な教育を等しく受けることができるよう、市民のみならず、地域を形成する一員である企業のサポートを促すと共に、行政との連携を強化し、地域が丸となった新たな育児支援のあり方を確立する事業を実施してまいります。

**新たな意識確立室**

室長 三輪大介

人の持つ違いを否定的に遠ざけようとするのではなく、個性として肯定的に受け入れられるように、日本人として受け継いできた精神性をバージョンアップさせると共に、多様性を尊重し、互いを思いやりながら立ち居振る舞うことのできるモラルとして、新たな意識を確立する必要性を発信してまいります。

**NAGOYAの人財育成室**

室長 林宏和

数多くの恵まれた条件と魅力とを兼ね備えた国際都市NAGOYAのまちの魅力を再認識し、誇りを持ち、自信を持って世界と渡り合える、グローバルな視点を持った人財の育成を目指すことで、自らが進んで行動を起こす真の国際都市NAGOYAを創造してまいります。

**質実剛健な人財育成室**

室長 落合徹哉

現代を生き抜く上で必要となるたくましい精神を市民に広めるために、武道・芸道を通じて礼儀や作法、自身と向き合う精神統一による「道」の精神の神髄を探求し、発信していきます。そして、世の中の潮流に流されず、このまちをさらに発展させようとする強い意思に基づいて行動できる次代の名古屋を担うにふさわしい人財を育成してまいります。

**躍動する名古屋創造室**

室長 八木俊行

誇るべき歴史と伝統に加え、理数都市としての側面に支えられた現在の名古屋の強みを踏まえ、まちのさらなる活性化のために、地域の歴史的背景や特色といった既存の要素を融合させて新たな魅力へと昇華した近未来のまちの姿を具体化することで、世界を舞台に躍動するまち名古屋の創造に向けた道筋を描いてまいります。

**名古屋観光開発特別委員会**

特別委員長 高橋雅大

長い歴史を誇るこのまち独自の文化・商業・工業のみならず、恵まれた地の利を活かした観光開発を行い、多面的にプランディングし、その魅力的な観光資源を市民に向けて発信することで、市民が工業と観光が両輪として共存するまちの姿に心躍らせ、郷土愛と誇りを深め、観光都市確立に向け行動し、誇りにつなげる事業を実施してまいります。

**総務室**

室長 春名潤也

名古屋のまちを想い続けてきた伝統ある組織を誇り高く支えて、市民の共感を得る運動発信を構築する源となり、会員の情熱を運動へと展開し、市民と協働して共に名古屋の次代を切り拓く団体として真価を発揮するために、市民が青年会議所の存在を認知し運動に共感するプランディングを確立してまいります。

**渉外委員会**

委員長 澤木信男

**地域で支える育児支援社会確立委員会**

委員長 梅本昌裕

**ダイバーシティ確立委員会**

委員長 鶴飼伸彰

**グローバルなNAGOYAの人財育成委員会**

委員長 野田雄二郎

**道の精神探求委員会**

委員長 西原政照

**リアルな名古屋探究構築委員会**

委員長 桑田正和

**総務委員会**

委員長 齋藤亮治

**財務委員会**

委員長 安田伸志

**広報委員会**

委員長 長村明子

**教育格差解消推進委員会**

委員長 神谷昭一郎

**ネットモラル確立委員会**

委員長 服部大

**NAGOYAのアントレプレナー発掘育成委員会**

委員長 横山亮介

**新しい成人教育実践委員会**

委員長 木下智晴

**理数都市NAGOYA創造委員会**

委員長 平手康司

**財務委員会**

委員長 安田伸志

**JC運動発信委員会**

委員長 一之瀬修

**まち・国づくり参画プラットフォーム創造委員会**

委員長 山本洋一

まち・国づくりに関するすべての市民が関わっていかねばなりません。我々は行政や大学等とのパイプを生かして人々に自身の暮らしに対する多角的な議論を促し、多くの声を集めて行政に提言する環境を構築し、まち・国づくり参画の重要性を伝えていく必要があります。まずは、市民にまち・国づくりに関する参画を促すための仕組み作り「まち・国づくり参画プラットフォーム」を創設してまいります。

**オリエンテーション実行会議**

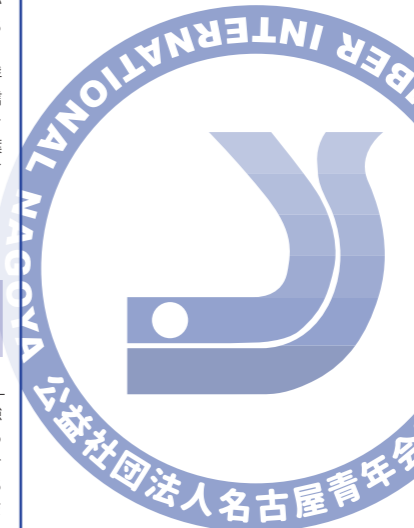
議長：武田裕規

我々は、会員一人ひとりがJAYCEEとしての誇りを持ちながら、一致団結し、英知と勇気と情熱を持って市民意識変革運動を力強く推進して行く必要があります。そのためには、運動を共に展開する同志を育成していかねばなりません。新入会員に対して、規律と品格を兼ね備え、自分のためだけでなく人やまちのために行動できるような名古屋青年会議所の未来の中核を担うことのできる人財へと成長させるオリエンテーションを実施してまいります。

**わんぱく相撲運営会議**

議長：西原政照

核家族化や少子化によって、昨今の子供たちを取り巻く生活環境は大きく変化し、子供同士がルール順守や相手を思いやる心を学ぶ機会が減少しています。次代を担う子供たちにとって、礼節やお互いを認め合う心を培い、心身共にたくましい人財へと成長する機会とするために、そして、年々進化するわんぱく相撲をより良い大会にするべくわんぱく相撲を実施してまいります。



## 《 JC入会案内 》

# あなたの魅力をもっと輝かせてみませんか。

- 自分のスキルアップを目指してる人!
- ビジネスのネットワークを広げたい人!
- 仲間づくりをしたい人!名古屋のまちが好きな人!
- 子供たちへの教育に興味がある人!
- JCでしかできない経験が必ずあなたの可能性を広げます。
- あなたも会員になってみませんか。

### 組織運営に直結するトレーニングの実施

リーダーシップ開発を目的に、組織運営に必要な能力の習得につながるトレーニングや、ビジネスシーンにおけるマナー学習やコミュニケーション能力向上に結び付くセミナープログラムを行い、全会員の能力向上を図っています。



### 社会問題に率先して取り組む意識の醸成

名古屋青年会議所が目指すべき運動の方向性や政策を訴える場、確認する場として毎月一回例会を開催しています。これは「今、我々市民が何を問題とし、行動に移さなければならないのか」という意識を共有し醸成することを目的としています。

### 子供たちの育成

名古屋青年会議所では、職業体験やスポーツ大会など様々な青少年育成事業を展開することで、未来を担う子供たちの健全な育成を後押しすると共に、夢に向かって努力することの大切さや素晴らしいことについて学ぶ機会を設けています。

## 入会資格と入会費用

- 年齢 / 1982年1月1日生まれ～1996年12月31日生まれの男女
- 推薦人 / 2名の推薦人  
(名古屋青年会議所の正会員2名又は正会員1名と特別会員1名)  
※推薦人には、入会希望者の在籍中、責任を持って助言・指導をしていただきます。
- オリエンテーションを受講できる方
- 入会目的・理由が明確であり、その目的・理由が青年会議所の趣旨に合致すること
- 同一の会社の社員は原則として2名まで
- 入会費用 / 182,600円  
(入会金50,000円・年会費127,400円(入会初年度のみ)JCバッジ / ネームプレート / 共通ポロシャツ 5,200円)
- 次年度以降 / 185,000円  
※入会初年度は入会月により月割りでの計算となります。
- 必要書類 / 入会申込書(入会希望者と推薦人の署名捺印が必要)・戸籍謄本1通(現在事項全部証明書)・市区町村発行の身元証明書1通・写真2枚(5×5cm)(スーツ着用)・所属しているすべての会社登記簿謄本1通(法人のみ)
- 入会までの流れ  
仮申込書(予定者期間のみ)→入会申込書・必要書類提出→入会金振込→入会前面接→認証式→オリエンテーション

## よくある質問

### 青年会議所 Q&A

- Q かかる費用はどれくらいですか?**  
**A** 年会費185,000円です。  
 その他に諸大会・事業等で登録料が必要となる場合があります。
- Q 会員にはどのような方々がいるのですか?**  
**A** 名古屋市若しくは周辺地域で就業、又は在住する21歳から40歳までの人々が活躍しております。個人事業主の方から会社員、企業の若手経営者の方など業種や役職・経歴や男女を問わず幅広く入会されています。  
 JCの活動を通じて、お互いの環境に関係なく一生の友となれる人ときっと出会えるはずです。
- Q JCに入ったらどのような活動をするのですか?**  
**A** 「明るい豊かな社会の実現」を目的に名古屋のまちづくり・ひとづくりを実践しています。具体的な事業内容は毎年変わりますが、理念は変わりません。また、単年度制をとっており、理事長以下、組織は毎年入れ替わります。また、日本青年会議所等に出向することで、日本全国のJC会員と共に活動することができるのみならず、世界組織であるJCの特色として、世界中の会員と合流することもできます。
- Q どれくらいの頻度で集まりがありますか?**  
**A** 月に2回程度(例会が月1回、委員会は月1回程度)会合があります。

▶お問い合わせは下記まで  
 ※入会を希望されていても面接により入会をお断りする場合があることをご了承下さい。

## マズモッテ定期送付ご希望の方へ

携帯・スマートフォン・パソコンからお申し込み

- 1 QRコードを読み取って下さい
- 2 「マズモッテ定期送付依頼フォーム」から必要事項をご入力下さい。



※QRコードでなく、入力の際は下記アドレスをご入力下さい。  
[https://www.nagoyajc.or.jp/68nendo/about/mazmotte/main\\_form.php](https://www.nagoyajc.or.jp/68nendo/about/mazmotte/main_form.php)  
 ※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に従い取り扱います。  
 ※公益社団法人名古屋青年会議所に関する情報提供以外の目的では利用いたしません。  
 ※アクセスにはご契約の通信料がかかります。

## 名古屋の魅力を発信する情報をゲット!

名古屋青年会議所のホームページやSNSでも情報を発信中!

公式YouTubeチャンネル  	公式Facebook  	公式Instagram  	公式LINE  
------------------------	--------------------	---------------------	----------------

## 編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。マズモッテ、2018年度(第68年度)広報委員会が手掛ける最初の広報誌は、事務局の皆様をはじめ、数多くの関係者様のご協力があり発行することができました。ご協力に心から感謝申し上げます。編集にあたり、名古屋青年会議所は崇高な理念である「明るい豊かな社会」の実現を目指し、価値観は多様ですが、率先して行動する青年経済人が集う刺激的な組織であることが分かりました。また、全国696LOMの中で2番目に会員数が多い青年会議所であるにもかかわらず、理事長所信に基づき皆が考え一体感を持って活動している様に、壮大さを感じております。この広報誌「マズモッテ(Mazmotte)」は、「先ず以て」という「宛にも角にも」という意味と、「先ず手に取っていただく」という意味を含め、名古屋青年会議所が10年間に亘り発行し続けています。2018年度(第68年度)を理念に、すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋を創造していく皆さまの活動模様をお伝えしていきます。至らぬ点があるかと思いますが、私もバッテリーボックスに立ち続け、想いが伝わる広報誌を発行してまいりますので、1年間どうぞ宜しくお願いいたします。

広報委員会 副委員長 中島 雅貴

編集者	編集長 長村明子	副編集長 川村浩嗣	編集委員 今川結理	編集委員 熊田憲一郎	編集委員 高木宏昌	編集委員 西田淳	編集委員 山田武弥	編集委員 濱岡義美	編集委員 大島久敬	編集委員 坂本篤志	編集委員 田代雄太	編集委員 高木宏昌	編集委員 西田淳	編集委員 山田武弥	編集委員 鶴岡直樹	編集委員 岡村祥吾	編集委員 山慶太	編集委員 田中美穂	編集委員 浜崎亮	編集委員 山田裕紀	編集委員 中島雅貴	編集委員 奥田英雅	編集委員 椎葉保雄	編集委員 寺島雅樹	編集委員 福楽正旭	編集委員 横井拓也	編集委員 田中努	編集委員 小栗崇嗣	編集委員 金井浩高	編集委員 蟹江誠一	編集委員 鈴木基之	編集委員 森部繁信	編集委員 西脇眞理子	編集委員 金井浩高	編集委員 杉山浩子	編集委員 中丸和彦	編集委員 森藤菜	編集委員 呂 佳赫
-----	----------	-----------	-----------	------------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------



公益社団法人名古屋青年会議所  
 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目15番24号  
 TEL 052-221-8590 FAX 052-202-0464

<http://www.nagoyajc.or.jp>

名古屋青年会議所